

2020 年度第 6 回千葉大学アカデミック・リンク・センター教員会議 議事要旨

1. 日 時: 令和 2 年 10 月 1 日 (木) 10:30~11:30
2. 場 所: オンライン会議 (Teams を使用)
3. 出席者: 竹内センター長、檜垣副センター長、山本副センター長、岡田副センター長、竹田副センター長、國本特任准教授、前田兼務教員 (国際学術研究院)、白川兼務教員 (国際学術研究院)、神野兼務教員 (教育学部)、伊藤兼務教員 (医学研究院)、織田兼務教員 (国際未来教育基幹)、菅野学務部長、鈴木利用支援企画課長、綾部学術コンテンツ課長
欠席者: 横田兼務教員 (社会科学研究院)、石井兼務教員 (人文科学研究院)、小林兼務教員 (園芸学研究科)
・うち、海外出張者 1 名
陪席者: 藤本特任講師、我妻特任助教、久保田特任助教、武内利用支援企画課副課長、飯塚学術コンテンツ課副課長、北村利用支援企画課総務係長、磯本利用支援企画課利用支援企画グループ GL、池尻利用支援企画課アカデミック・リンクグループ GL

4. 配布資料

1. 2020 年度第 5 回アカデミック・リンク・センター教員会議議事要旨 (案)
2. ALPS 履修証明プログラム申込者一覧
- 3-1. ALPS プログラム第 6 回シンポジウム企画説明資料
- 3-2. ALPS プログラム第 6 回シンポジウム企画ポスター
- 4-1. 「ALPS 履修証明プログラム検証プロジェクト」へのデータ提供及びデータ利用についての承諾のお願い
- 4-2. ALPS 履修証明プログラム履修前アンケート
- 5-1. オンライン学習支援・環境整備のための研究計画
- 5-2. 研究のご説明 オンライン学習支援・環境整備のための学習行動研究 (学生参加型研究)
- 5-3. 研究のご説明 院生支援枠組み (EYR!) 構築のためのフォーカス・グループ・インタビュー
- 6-1. 2020 年度リサーチ・アシスタント (RA) 経費 の 配分 について
- 6-2. 研究プロジェクト等に係るリサーチ・アシスタント (RA) 委嘱計画書
7. ALPS プログラム活動の概要及び進捗状況・予定 (2020 年 9 月~11 月)
8. 令和 2 年度第 2 回 ICT 推進専門委員会議事要旨
9. 国際未来教育基幹キャビネットセンター長会議 (令和 2 年度 第 2 回)・議事要旨 (案)
10. 教育研究評議会、大学運営会議議事次第 (2020 年 9 月)

前回議事要旨 (案) について確認依頼があり、承認された。

5. 審議事項

(1) ALPS 履修証明プログラム 2020 年度生の選考について

竹内センター長から資料 2 に基づき、説明があった。

ALPS 履修証明プログラム 2020 年度生の募集には、学外からの申込みが 10 名、学内 SULA の申込みが 7 名、合計 17 名の申込みがあり、全員申込資格を満たしている。学内 SULA は全員基盤的テーマのみの申込みである。

教育・学修支援専門職養成部門会議(9/28)で本人による申込書を詳細に確認し、全員受け入れることが了承された。

審議の結果、17 名全員の履修について、異議なく了承された。

(2) ALPS プログラム第 6 回シンポジウムの開催について

竹内センター長から資料 3-1.3-2 に基づき、ALPS シンポジウム「新型コロナ禍の下での教育・学修支援ー新入生への支援に留意してー」を 10 月 28 日(水)15:00-17:15 にオンラインで開催する旨、説明があった。講演者は、田中 岳 氏(東京工業大学教育革新センター副センター長・教授)と高石 恭子 氏(甲南大学教授、日本学生相談学会理事長)である。

審議の結果、開催について異議なく了承された。

(3) ALPS 履修証明プログラム検証プロジェクト

竹内センター長から資料 4-1 に基づき、ALPS 履修証明プログラム検証プロジェクトについての説明があった。これは、ALPS 履修証明プログラムについて、履修生のニーズや意識などの実態と傾向などを把握し、データやエビデンスに基づいたプログラムの改善を行うためのもで、履修生にはデータ提供およびデータ利用の承諾を依頼するものである。第 4 期生に対しては資料 4-2 の履修前アンケートを実施したいと考えている。設問内容については、第 3 期生と同じものである。

審議の結果、異議なく了承された。

(4) オンライン学習支援・環境整備のための研究計画

國本特任准教授から、資料 5-1~5-3 に基づき、調査 2 件について説明があった。調査 1 は学部生を調査対象とし、学生が 2 週間自分の学習を記録し、後日それらに基づき教職員がインタビューを行うものである。結果の分析については、ALSA-GS が参加する場合もあることも合わせて説明された。調査 2 については、大学院生を対象にフォーカス・グループ・インタビューを行い、大学院生が直面する課題・必要な情報・支援ニーズの分析を行うものである。その結果をもとに現在構築中の「大学院生支援ポータル(EYR!)」の改善を目指す。

調査 1 について 2 点の質問があった。

一つは、学習の記録という点から個人情報の扱いについてであり、これに関しては、学生が記録を出す際には、本人が不要な部分にマスキングをしたうえで提出するなど、プライバシーにも留意していることが説明された。

もう一つは、研究と学生スタッフとしての業務の切り分けについての質問があった。これについては、学生が分析にもかかわる点については、自主的な参加であって、ALSA-GS としての業務ではないことなどが説明された。

調査 2 について対象者のイメージがつかみにくいなどの意見が出されたが、過去のインタビュー調査などではまだデータが不足している分野の大学院生の参加を促すような表現に変える提案などがあった。

実施にあたっては、今回の意見を踏まえて修正することを前提に承認された。

6. 報告事項

(1) 研究プロジェクト等に係るリサーチ・アシスタント(RA)委嘱について

竹内センター長から資料 6-1、6-2 に基づき、デジタル・スカラシップ部門におけるデジタルリソースの研究開発に際してリサーチ・アシスタント(RA)に委嘱する旨、説明があった。今後、研究業務の経過は随時報告を行う。

(2) 教育関係共同利用拠点 ALPS プログラム活動の進捗状況について

竹内センター長から資料 7 に基づき、第 3 期生の対面授業(成果報告会)が 9 月 26 日に実施されたことや第 4 期生の e ラーニングが 10 月 12 日に開始することなどについて説明があった。

(3) アカデミック・リンク・センターICT 推進専門委員会(9/4)について

竹内センター長から資料 8 に基づき、説明があった。

(4) アカデミック・リンク・センターへの視察・見学(9 月)について

竹内センター長から視察・見学については、0 件であった旨、報告があった。

(5) 国際未来教育基幹キャビネットセンター長会議(9/10)について

竹内センター長から資料 9 に基づき、説明があった。

(6) 教育研究評議会、大学運営会議(9 月)について

竹内センター長から、資料 10 に基づき、説明があった。

次回 ALC 教員会議(予定) 2020 年 11 月 5 日(木)9:30～

附属図書館 I 棟 3 階きわみ

※オンライン会議に変更の可能性あり